

松平 朋夏 さん

小学校教育課程 小学校教育コース
広島県・広島市（小学校教諭）内定
大阪府立貝塚南高等学校出身



■ 学校種を目指したきっかけ

小学生の頃の担任の先生の姿に強く影響を受けました。担任の先生は、児童の良いところを見つけて褒め、伸ばしてくれるだけでなく、自身も子どもたちから地域のことなどさまざまなことを学んでいました。この経験から、次世代を担う子どもたちと共に学び、自分自身も成長できる小学校教員の仕事に強く憧れ、志望するようになりました。

■ 大学での学び・教育実習での経験

大学では、教職に関する座学と体験的な学びを通じて、模擬授業や発表など多くの経験を積みました。

教育実習では、1ヶ月で20本の指導案を作成したり、立て続けに授業実践を行ったりと大変な場面もありましたが、大学での学びがあったおかげで乗り越えることができました。また、子どもたちや先生方と毎日関わる中で、教師になりたいという思いがさらに強まりました。

■ 採用試験でのアピールポイント

- 学生会副会長として、仲間と共に大学内外の様々な企画を立案・実行
- PBLで府内外の企業や自治体と連携し、商品PRや後輩指導の経験
- オープンキャンパス学生スタッフとして、総合司会やキャンパスツアー、学科相談を担当
- 中学1年生から10年間続けている吹奏楽活動
- 小学校でスクールソポーターとして児童と関わり、先生方を補助

■ 教職センターでのサポート

模擬授業や集団討論、個人面接の対策を週数回のペースで実施していただきました。模擬授業では子どもが考えたくなる発問の工夫、集団討論では議論の進め方や伝え方、面接では自治体特有の質問への対応など、専門的な指導を受けられたことが大きな支えになりました。

また、教職センターの先生方が日常的に声をかけてくださったことで、少しづつ不安も軽減され、自信を持って試験に臨むことができました。

■ 目指す教師像

子どもたちと共に互いに高め合い、学び続けながら成長できる教師を目指しています。

■ 後輩へのメッセージ

教採合格という大きな壁を、本当に自分は乗り越えられるだろうか——。そうした不安を抱えている人は多いと思います。私自身も、「教採って何だろう？」という状態からスタートし、試験が近くにつれて不安になったり、挫折しそうになったりする日々を過ごしました。

しかし、この桃山学院大学人間教育学部には、教職センターをはじめとした先生方の手厚いサポートがあります。そして、同じく教員を目指す仲間と支え合い、励まし合いながら努力できる環境が整っています。

『たとえ小さくても、自分から一步踏み出してみること』

その一步がどれほど小さくても大丈夫です。勇気を振りしぶって踏み出した一步に、先生方や仲間たちが必ず応えてくれます。まずは、自分にできる小さなことから教採対策を始めてみてください。

同じ教員として、皆さんとともに教壇に立てる日を心から楽しみにしています。

